

社寺名 大井八幡神社 (今治市大西町宮脇 1437-1)

奉納者 片上興平・片上幸五郎・青野安吉

竹内長吉・佐賀山亀吉

奉納年 明治39年3月(1906年)

# 奉

## 年賦金乃法

茲二元金五百圓アリ

壹ケ年利息金壹割五歩定三ケ年二貸與年々拂込ノ定金何程ト問

答曰 毎年貳百拾八圓九拾八錢八厘五毛宛

術曰 壹割五歩二天ノ一ヲ加ヘ之レヲ法ニシテ初年天一ヲ除ス貳年

目二一個ヲ加ヘ之レ亦除シ參年目モ亦一個ヲ加ヘ除ス時ハ

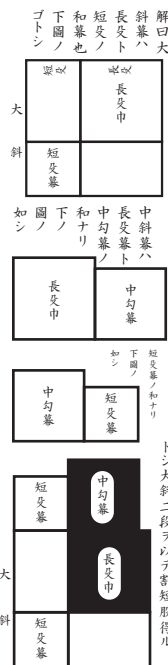
貳貳八參貳貳五ト成リ之レヲ法ニシテ五百圓ヲ割ル時ハ貳百

拾八圓九拾八錢八厘五毛ヲ得問ニ合ス

大斜十五寸中斜十四寸小斜十三寸長股及短股中勾各何程ト問



答曰 短股六寸六分長股八寸四分中勾十一寸二分  
術曰 大斜十五ヲ乘合小斜十三ヲ乘合タル數ヲ加三九ノ内中斜十四ヲ乘合タル數ヲ引餘八歩ノ大斜二段三十二割短股ヲ得是ヲ乘合小斜ヲ乘合タル數ノ内ヨリ引餘四分四厘  
短股ヲ引餘長股ヲ得  
大斜ヲ小斜ヲ加ヘ内中斜ヲ引餘左ノ圖ノ如ク大斜二段因短股トシ大斜二段ヲ以テ割短股得ル



地形ヲ築クニ三所ヨリ土ヲ取寄セル四百坪道五丁六百坪道四丁八百坪道七丁ナリ七百五十人ヲ三方へ使ハス土坪道距ニ應シテス數ノ離ヲ問

答曰 四百坪道五丁 一百五十人  
六百坪道四丁 一百八十人  
八百坪道七丁 四百八十人

術曰 四百坪ニ五丁ヲ掛ケ貳十六百坪ニ四丁ヲ掛ケ四丁八百坪ニ七丁ヲ掛ケ五丁之レニ貳拾四丁ヲ合テ法ニシテ七百五十ヲ割リ百坪壹丁ニ七人半掛リ也因法ニシテ二百方ケ四丁ニ掛ケ六丁ニ掛ケル也

### 間数勾配ニテ知ル事

南北へ流レタル川アリ川ノ東ニ石アリ川ノ西ニ東西一丈ノ木杭貳本アリ西ノ杭ヨリ東ノ杭ニ寫シテ彼ノ石見時西ノ杭ニ六地形ヨリ五尺上ニ有リ東ノ杭ニテハ地形ヨリ四尺八寸目ニ有ル時以テ遠何程有リ哉ト問

答曰 三十六間六尺

術曰 西ノ杭五尺ノ内東ノ杭四尺八寸引ハ二寸也是ヲ東西ノ間壹丈ヲ割ハ一尺ニ付勾配二厘宛ト是ニテ東ノ杭四尺八寸ヲ割レバ川向ノ石迄ノ遠サ二十四丈ト成ラ壹間長サ六尺五寸ニテ上ニ桁割ル也右算用ハ向ト手前トノ地形ノ高下ノ極メ同ジ地形ノ上ニテ此術ヲ用ユ地形ヨリ極リ向目當慥力成時ハ海山ヲ隔トモ算ノ理變事ナシ

青野安吉  
竹内長吉  
佐賀山亀吉

片上興平  
片上幸五郎

明治三十九年三月吉日

### 解説

5人が一つの額を奉納し、しかも奉納者名、奉納年月日が額の外枠に書かれている県内では唯一のめずらしい額である。神社の調査では5人とも大西町の住人で、それ以外は不明である。

算額の問題内容、書き方、奉納時期を考えると、和算の愛好家5人が学習の成果を一つの算額として奉納したものと思われる。また、仮名交じり文で書かれた額のため、問題文は省略する。